TRAFFIC ADVICE

★交通安全活動をサポートする

企業における交通事故削減のための情報を共有［鈴鹿フォーラム・浜松フォーラム報告］

「トラフィック・セーフティ・フォーラム」が10月、三重県鈴鹿市と静岡県浜松市で開催された。このフォーラムは交通安全活動に取り組む企業を対象に、効果のあった交通事故防止の施策などに関する情報を企業間で共有することを目的に行われている。

●交通安全を考える―時代が求める交通教育のあり方

2005トラフィック・セーフティ・フォーラムin鈴鹿

10月4日、「2005トラフィック・セーフティ・フォーラムin鈴鹿」が鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）で開かれた（主催：鈴鹿サーキット交通教育センター）。今回のテーマは「交通安全を考える―時代が求める交通教育のあり方」。

午前11時より鈴鹿サーキット交通教育センターで、実技勉強会「意識の脇見検証」が行われた。これは、ハンズフリーを含めた携帯電話使用などが運転にどのような影響を及ぼすかを検証するもの。参加者はクルマを運転中に計算するという課題に取り組んだ。計算をしない時と、する時では、コースの周回タイム等にどのような変化が表れるか、参加者一人ひとりが確かめた。

午後からは、鈴鹿サーキットフラワープラザに場所を移し、基調講演と勉強会が行われた。基調講演の特別講師は、武術を基盤とした様々な身体技法の実践研究者である甲野善紀氏。「身体の声を聴く」というテーマで、実演をまじえながら、武術の身体運用とその発想を説明し、自動車の運転への参考にしてほしいと述べた。

続く勉強会のテーマは「社員の能力を引き出す」。長江啓泰・日本大学名誉教授をコーディネーターに、岡野道治・日本大学教授、川上孝弘・UCC上島珈琲（株）グループ総務人事本部人材開発部部長、川上和生・ディー・エイチ・エル・ジャパン（株）総務部安全管理課チームマネージャー、橋田克己・鈴鹿サーキット交通教育センター・交通教育課チーフを交えて、企業の社員に向けた交通安全教育についての勉強会が進められた。岡野教授からは現在の学生の学習観や気質などについて、川上和生氏と川上孝弘氏からは各社の社員教育の内容について報告があった。大学と企業の双方の事例をもとに、現代の若者への教育方法について意見交換が行われた。

写真上／「社員の能力を引き出す」というテーマで、行われた勉強会
写真右上／基調講演では甲野氏が実演しながら武術の身体運用を説明
写真右下／実技勉強会「意識の脇見検証」のもよう

●企業ドライバーの交通安全を考える

トラフィック・セーフティ・フォーラム2005

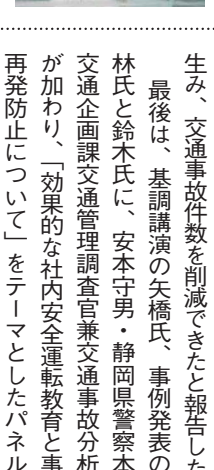
10月5日には、「トラフィック・セーフティ・フォーラム2005」がアクトシティ浜松コングレスセンター（静岡県浜松市）で開催された（主催：交通教育センターレインボー浜松・交通教育センターレインボー浜名湖）。テーマは「企業ドライバーの交通安全を考える」。

基調講演は、交通評論家・矢橋昇氏による「企業における交通安全のめざすべき方向」。社員一人ひとりが自ら望ましいマナーを考え、実践できる運転者を企業は育成してほしいと述べた。

引き続き、企業2社からの事例発表があった。まず、小林政昭・新日工業（株）製造一部部長が、同社で効果のあった交通安全への取り組みを紹介した。次に、鈴木健史・静岡精機（株）取締役第1営業部長が同社の安全運転活動を発表。クルマを運転中は一時停止場所で必ずスピードメーターをゼロにして完全な停止を行うというルールを徹底することによって、社員の安全運転に対する意識改革を生み、交通事故件数を削減できたと報告した。

最後は、基調講演の矢橋氏、事例発表の小林氏と鈴木氏に、安本守男・静岡県警察本部交通企画課交通管理調査官兼交通事故分析官が加わり、「効果的な社内安全運転教育と事故再発防止について」をテーマとしたパネルディスカッション。運転中の携帯電話使用の禁止をいかに徹底するかなど、企業ドライバーに安全意識を高めてもらうための課題について話し合われた。

また、当日の午前中には、交通教育センターレインボー浜名湖で実技体験会が行われ、参加者が50km／hで走行中に危険を認知した時の反応時間と停止距離などを測定した。



写真上／効果的な社内安全運転教育と事故再発防止について話し合われたパネルディスカッション
写真右上／基調講演を行う矢橋氏
写真右下／実技体験会では、すべりやすい路面での急制動体験も行われた

NEWS REVIEW

●（財）交通事故総合分析センター
第8回研究発表会

快適な道路交通環境の実現に寄与するための研究発表

9月30日、（財）交通事故総合分析センターが「第8回交通事故調査・分析研究発表会」をスクワール麹町（東京都千代田区）で開催した。この研究発表会は同センターによる各種の調査分析研究の成果を交通安全対策に携わる関係機関・団体をはじめ、一般の方々にも広く提供し、活用してもらうことを目的に毎年行われている。

今年は、大堀太千男理事長の挨拶に続いて、以下の5つの研究発表が行われた。

(1)交通事故死者数が7,358人に減少した要因の分析
(2)ミクロ事故調査事例による車両横転事故の実態調査
(3)二輪事故におけるヘルメット脱落の実態
(4)事故例調査結果を用いた事故再現に関する検討
(5)飲酒運転に関する道路交通法の改正の効果

「交通事故死者数が7,358人に減少した要因の分析」では、様々な機関が実施した対策が一定の死者数低減効果があったことを示した。さらに、最も大きかった要因は、シートベルト着用者率向上と車両の衝突速度の低下といった人的要因であることが発表された。

●第37回全国白バイ安全運転競技大会

全国の白バイ隊員がトップレベルの操縦技術を競う

10月8日、9日の両日、「第37回全国白バイ安全運転競技大会」（警察庁主催）が自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）で開催された。今年は女性隊員44名を含む191名が参加。2日間で延べ約3800人が観戦した。

この大会は、白バイ隊員の安全運転技術の向上と士気の高揚、隊員相互の融和団結を目的に、昭和44年より毎年実施されている。また、大会の運営には本田技研工業（株）安全運転普及本部と（株）ホンダモーターサイクルジャパンが協力している。

主な結果は以下の通り。

●団体競技の部
（第1部・9都府県）優勝／福岡県、第2位／警視庁、第3位／埼玉県
（第2部・皇宮警察及び37道府県）優勝／高知県、第2位／新潟県、第3位／静岡県

●個人の部
（男性の部）優勝／大野友樹（愛知県）
（女性の部）優勝／児玉典子（大阪府）

交通安全活動を広げる SAFETY REPO

●（株）ホンダクリオ信州

お客様の安全運転意識を高めると同時にHondaの先進技術も体験

（株）ホンダクリオ信州（本社：長野県飯田市）では毎年、春と秋の2回、お客様を対象としたドライビングスクールを開催している。10月16日、アルピコ自動車学校中央校（長野県塩尻市）で、今年2回目のスクールが開催され、同社のお客様48名が参加した。

スクールは午後1時からスタート。参加者は2つのグループに分かれ、ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）体験とホンダFCX（燃料電池車）の同乗体験を交互に行った。

ABS体験では、まず参加者がABS非装着のクルマで、すべりやすい路面を30km／hで走行。急ブレーキをかけるとタイヤがロック、ハンドルを操作しても自由がきかず、クルマは路面をすべっていくだけであった。次は、ABSを装着したクルマで、同じコースを30km／hで走行。急ブレーキをかけながら路面上に置かれた障害物を回避する。今度はハンドルをきった方向にクルマが動く。障害物を避けて安全に停止することができ、参加者はABSの効果を実感した。

FCXの同乗体験では、参加者はスタッフが運転するFCXの助手席や後部座席に乗り、燃料電池車の走りを体感した。

最後は2つのグループが集まり、日常点検、タイヤ交換、発炎筒の点火を体験し、午後5時にスクールは終了した。

（株）ホンダクリオ信州の橋本篤・執行役員は、ドライビングスクールの位置づけを次のように話す。「私たちはお客様の安全運転意識の向上をめざして、スクールを開催しています。そして、この機会にホンダの安全や環境に関する先進技術もお客様に知っていただきたいと考えました。今年は燃料電池車FCXの同乗体験、昨年はインスパイアの追突軽減ブレーキ体験を行い、ホンダのクルマの安全性能や環境性能をアピールしています」。

この日の参加者からは、「ABSがついていれば、急ブレーキをかけてもハンドル操作ができることは知っていましたが、実際にやってみたのは初めてでした。こうした体験をしておくと、降雪や凍結ですべりやすい路面でも安心して運転できます」「燃料電池車独特のモーター音や加速を楽しめました。未来のクルマに乗ったような気がします」という感想が聞かれた。

ABSが装着されていれば、急ブレーキをかけながらでもハンドルの操作ができることを体験

水素を使って走る燃料電池車、Honda FCXの同乗体験も参加者に好評だった

活動短信 ●交通教育センター　10月

アクティブセーフティトレーニングパークもてぎ
TEL 0285(64)0100
●企業／□（輪）＝日信工業、本田技術研究所朝霞研究所、本田技研工業
［四輪］＝テクノ菱和、オリンピア、キヤノン、NTTファシリティーズエンジニアリング中央、ドコモエンジニアリング、栃木県指定自動車教習所、栃木県自動車販売店協会、大宮自動車教習所、ホンダテクニックジャパン、本田技術研究所ピーエスジー、ショーワ、オートテクニックジャパン、本田技研研究所栃木研究所・和光研究所、本田技研工業
●官公庁／［前橋］地方検察庁
●学校／［コンポーネンツカー］＝柏市立光ケ丘小学校、小山市立萱橋小学校
［交通安全教室］＝大田原市立須佐木小学校
●一般／□（輪）＝HMS初級・中級・上級の各コース、トレッキングファースト・セカンド・スペシャルの各ステージ、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サード・スペシャルの各ステージ
［四輪］＝ホンダクリオ栃木、ホンダドライビングミーティング、HDS初中級・中級の各コース

交通教育センターレインボー和光
TEL 048(461)1101
●一般／□（輪）＝HMS初級AM・PM・サンセットの各コース、二輪安全運転講習会
［四輪］＝高齢者講習、シルバードライバードクスクール、HDS初級半日・パック半日・サンセットパックの各コース、四輪安全運転講習会

交通教育センターレインボー埼玉
TEL 049(297)4111
●企業／□（輪）＝セコム東京本部・神奈川本部、東京電力多摩支店、三菱電機ビルテクノサービス、ライティングアドバイザー、ホンダエンジニアリング、本田技研工業埼玉製作所
［三輪］＝ヒガ・インダストリーズ、本田技術研究所朝霞研究所
［四輪］＝三菱電機ビルテクノサービス、NTT東日本・千葉、東京電力山梨支店、ーNAX、埼玉県自動車販売店協会、東京ガス、セコム東京本部・神奈川本部、コーブネット、JAL航空機整備成田、さいたまコーブ、関東電気保安協会千葉事業本部、埼玉事業本部、生活クラブ生活協同組合、NPOコーポレーション、ベルーナ、アイティリューションサービス、ベル視察体験会、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、ホンダーエンジニアリング、本田技術研究所和光研究所、本田技研工業埼玉製作所、四輪事業本部
●官公庁／□（輪）＝日本郵政公社東京支社
［四輪］＝熊谷警察署
●学校／□（輪）＝ホンダ学園
●一般／□（輪）＝HMS初級・中級・上級・バランスファースト・バランスセカンド・バランススペシャル・レディス・ナイスミドルの各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
［四輪］＝HDS初級ファースト・セカンドの各ステップ、車庫入れマスターコース、総合トレーニングコース

交通教育センターレインボー浜松
TEL 053(437)5251
●企業／［四輪］＝三方原自動車教習所
●学校／□（輪）＝浜松工業高校
●一般／□（輪）＝HMS初級・初中級・サンセットの各コース、ペーパーライダースクール
［四輪］＝高齢者講習、高齢者ドライバースクール

交通教育センターレインボー浜名湖
TEL 053(527)1191
●企業／□（輪）＝中部電力
［四輪］＝中部電力、ヤマハ、NTTマーケティングアクト、エンシュウ、セントラルジャパンロジスティックス、セーフティコーディネーター、視察体験会、本田技研工業
●官公庁／［四輪］＝富士宮地区安全運転管理協会、浜松中央警察署
●一般／□（輪）＝HMS初中級・中上級・バランス・オフロード入門・トライアル入門・プライベートレッスンの各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンドの各ステージ
［四輪］＝HDSプライベートレッスン

鈴鹿サーキット交通教育センター
TEL 0593(78)0987
●企業／□（輪）＝カヤバ工業
［四輪］＝三菱電機ビルテクノサービス、カヤバ工業、セントラルジャパンロジスティックス、東海旅客鉄道、東邦ガス、JAF関西、BPジャパン、日本郵便逓送、日立ビルシステム、ウエストバトロール、オールホンダ、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、本田技研工業鈴鹿製作所・法人営業部、2005トラフィック・セーフティ・フォーラムin鈴鹿
●官公庁／［四輪］＝名古屋地方検察庁、京都地方検察庁、福岡市財務局、三重県警察本部、全日本指定自動車教習所協会連合会、全日本交通安全協会、三重石油商業組合、一宮商工会議所
●学校／［四輪］＝中部国際自動車大学、西鉄自動車整備専門学校
●一般／□（輪）＝HMS初級・中級・トライアル入門の各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サード・の各ステージ
［四輪］＝HDSファースト・セカンドの各コース、NSXフェスタ、S2000・シビックタイプR・マセラッティ・各オーナーズミーティング

交通教育センターレインボー福岡
TEL 092(963)1421
●企業／［四輪］＝セコム九州本部、明治乳業、キリンビバレッジ、ビビー・カストロール、NTTレンタルエンジニアリング、九州電力佐賀支店、セーフティコーディネーター、本田技研工業安全運転普及本部高齢運転者プログラム試行
●官公庁／□（輪）＝古賀郵便局、和白郵便局、宗像郵便局、福間郵便局
［四輪］＝福岡国税局
●一般／□（輪）＝HMS初級・中級・サンセットの各コース、初心者講習、高齢者講習、取得時講習
［四輪］＝HDSオーダーメードコース、初心者講習、高齢者講習、取得時講習

交通教育センターレインボー熊本
TEL 096(293)1390
●企業／□（輪）＝NTTネオメイトサービス
［四輪］＝サークリーン九州、九州バイウェイパトロール、大分県石油商業組合、福岡県石油商業組合、熊本県石油商業組合、視察会、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、本田技研工業
●官公庁／［四輪］＝長崎県総務部管財課、長崎県県北振興局、長崎県土木事務所、諫早土木事務所、熊本県警察本部交通指導課、阿蘇地区安全運転管理者等協議会
●学校／［四輪］＝山口県自動車学校連合会
［自転車］＝熊本県城山幼稚園交通安全教室
●一般／□（輪）＝HMS初級・中級・トライアル入門の各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
［四輪］＝HDS初級・中級の各コース、ホンダドライビングミーティング